

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年01月09日

計画の名称	広島県における流域下水道事業の推進（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和04年度（3年間）									重点配分対象の該当			
交付対象	広島県												
計画の目標	<p>太田川、芦田川及び沼田川は、本県を代表する河川であり、生活用水をはじめ、工業用水、農業用水として重要な水源となっている。また、瀬戸内海についても、本県の経済活動を支えるとともに、日本初の国立公園の指定を受けるなど、県民の貴重な憩いの場となっている。</p> <p>一方で、下水道整備の進展に伴い、下水道施設ストック（処理場、管きよ等）が増大している。日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止し、計画的な点検・調査及び修繕・改築を行うことにより持続的な下水道機能確保とライフサイクルコストの低減を図る。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	8,513	A	8,513	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

計画の成果目標（定量的指標）				
番号	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R02当初		R04末
1	改築を必要とする3箇所の終末処理場（東部浄化センター、芦田川浄化センター、沼田川浄化センター）における改築達成率を0%（R02）から100%（R04末）に向上させる。 下水道施設（終末処理場）の該当箇所における改築達成率 改築済施設（件数）／改築対象施設（件数）（対象施設）終末処理場施設：38設備	0%	%	100%
2	下水道管渠における点検・調査率を0%（R02末）から100%（R04末）とする。 各流域下水道幹線管きよの該当箇所における改築達成率 点検済延長（km）／点検対象延長（R02～R04対象箇所）（km）（対処施設）対象延長：37.3km	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	広島県	直接	広島県	終末処理場	改築	太田川流域下水道 東部 浄化センター	改築更新工事 (処理場施設)	広島市・府中町 ・海田町・坂町 ・熊野町	■	■	■			3,860		策定済	
	A07-002	下水道	一般	広島県	直接	広島県	管渠 (汚水)	改築	太田川流域下水道 瀬野 川処理区	管きよ点検	広島市・府中町 ・海田町・熊野町	■	■	■			100		策定済	
	A07-003	下水道	一般	広島県	直接	広島県	—	改築	太田川流域下水道 調査 ・設計	地震対策 (管きよ等)	広島市・府中町 ・海田町・熊野町	■	■	■			45		—	
	A07-004	下水道	一般	広島県	直接	広島県	—	改築	太田川流域下水道 瀬野 川処理区	地震対策工事 (管きよ等)	広島市・府中町 ・海田町・坂町 ・熊野町	■	■	■			60		—	
	A07-005	下水道	一般	広島県	直接	広島県	終末処理場	改築	芦田川流域下水道 芦田 川浄化センター	改築更新工事 (処理場施設)	福山市・府中市	■	■	■			3,585		策定済	

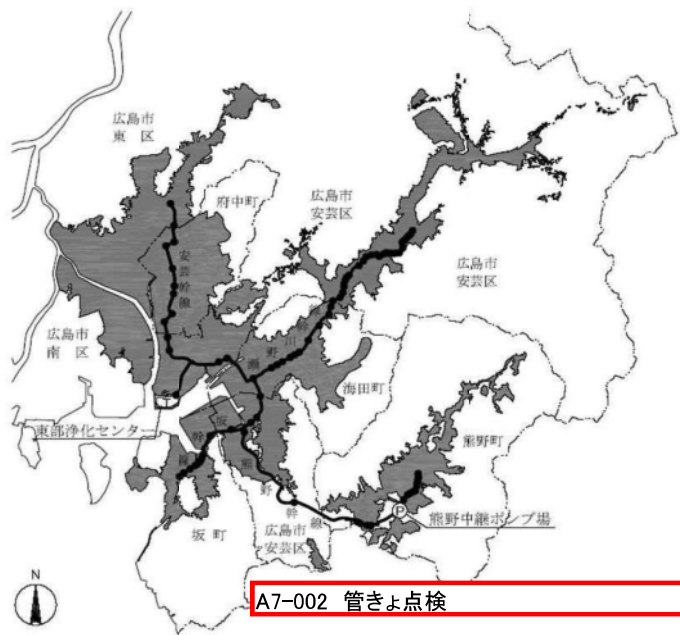
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-006	下水道	一般	広島県	直接	広島県	管渠（ 汚水）	改築	芦田川流域下水道 芦田川処理区	管きよ点検	福山市・府中市	■	■	■			100		策定済	
	A07-007	下水道	一般	広島県	直接	広島県	—	改築	芦田川流域下水道 調査・設計	地震対策（管きよ等）	福山市・府中市	■	■	■			45		—	
	A07-008	下水道	一般	広島県	直接	広島県	—	改築	芦田川流域下水道	地震対策工事（管きよ等）	福山市・府中市	■	■	■			60		—	
	A07-009	下水道	一般	広島県	直接	広島県	終末処 理場	改築	沼田川流域下水道事業 沼田川浄化センター	改築更新工事（処理場）	三原市・東広島 市	■	■	■			403		策定済	
	A07-010	下水道	一般	広島県	直接	広島県	管渠（ 汚水）	改築	沼田川流域下水道 沼田川処理区	管きよ点検	三原市・東広島 市	■	■	■			60		策定済	
	A07-011	下水道	一般	広島県	直接	広島県	—	改築	沼田川流域下水道 調査・設計	地震対策（処理場、ポンプ場 ，管きよ）	三原市・東広島 市	■	■	■			75		—	
	A07-012	下水道	一般	広島県	直接	広島県	—	改築	沼田川流域下水道	地震対策工事（処理所、ポン プ場、管きよ）	三原市・東広島 市	■	■	■			120		—	

A 基幹事業																									
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況						
		種別	種別	対象	間接							R02	R03	R04	R05	R06									
		一体的に実施することにより期待される効果																							
		備考																							
																	小計						8,513		
																	合計						8,513		

(参考図面)

計画の名称	1 広島県における流域下水道事業の推進 (防災・安全)		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和4年度 (3年間)	交付対象	広島県

太田川流域下水道概要図



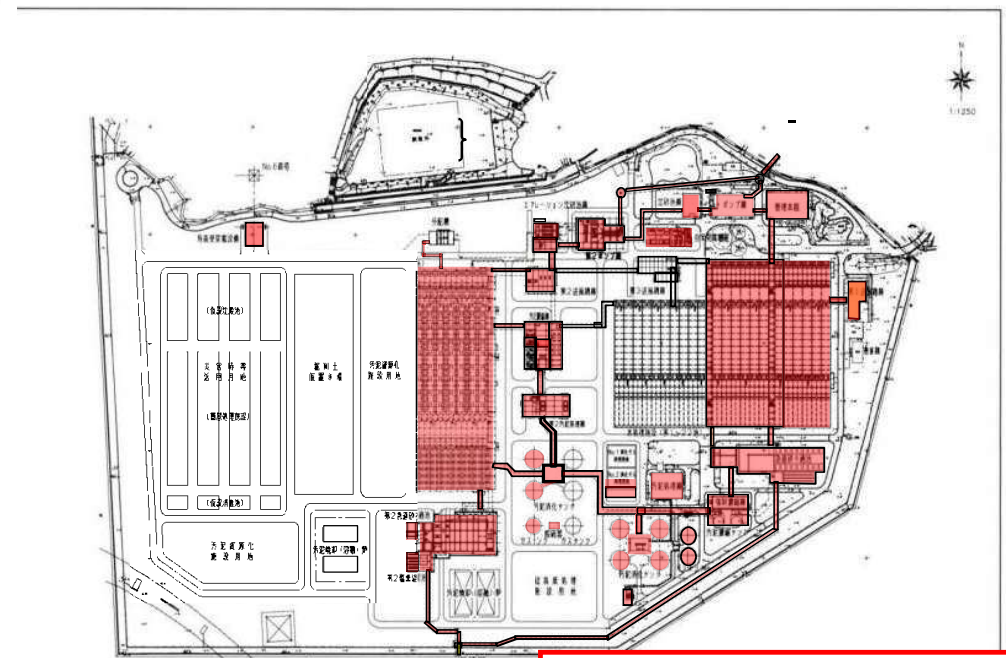
A7-002 管きよ点検

事業主体	広島県 1市4町 (広島市 安芸郡府中町 海田町; 熊野町)
行政区境界	---
幹線 (計画)	—
幹線 (敷設済)	—
中継ポンプ場	⊙
処理場	□

凡例

:対象施設

東部浄化センター平面図



A7-001 改築更新工事(処理場)

A7-003 耐震設計

A7-004 耐震工事

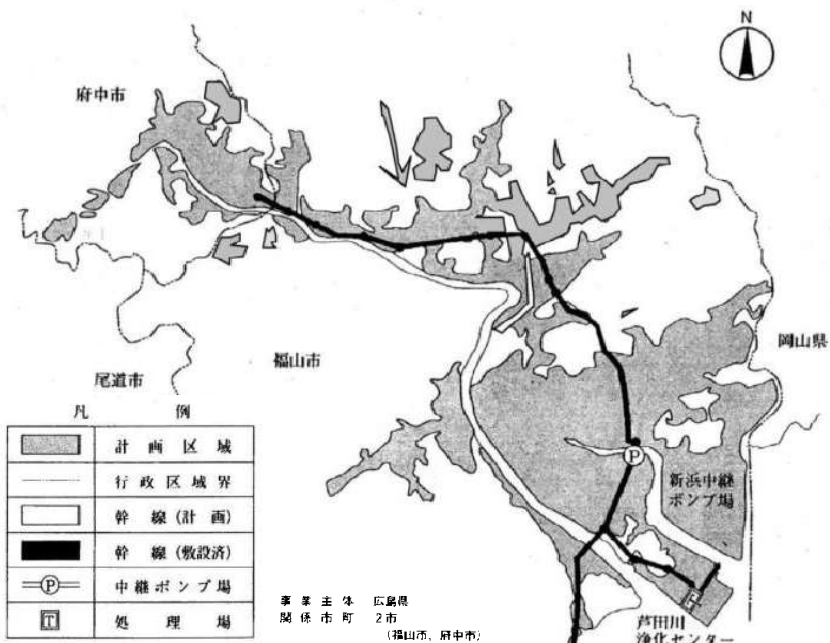


熊野中継ポンプ場平面図

(参考図面)

計画の名称	1 広島県における流域下水道事業の推進 (防災・安全)	交付対象	広島県
計画の期間	令和2年度 ~ 令和4年度 (3年間)		

芦田川流域下水道概要図

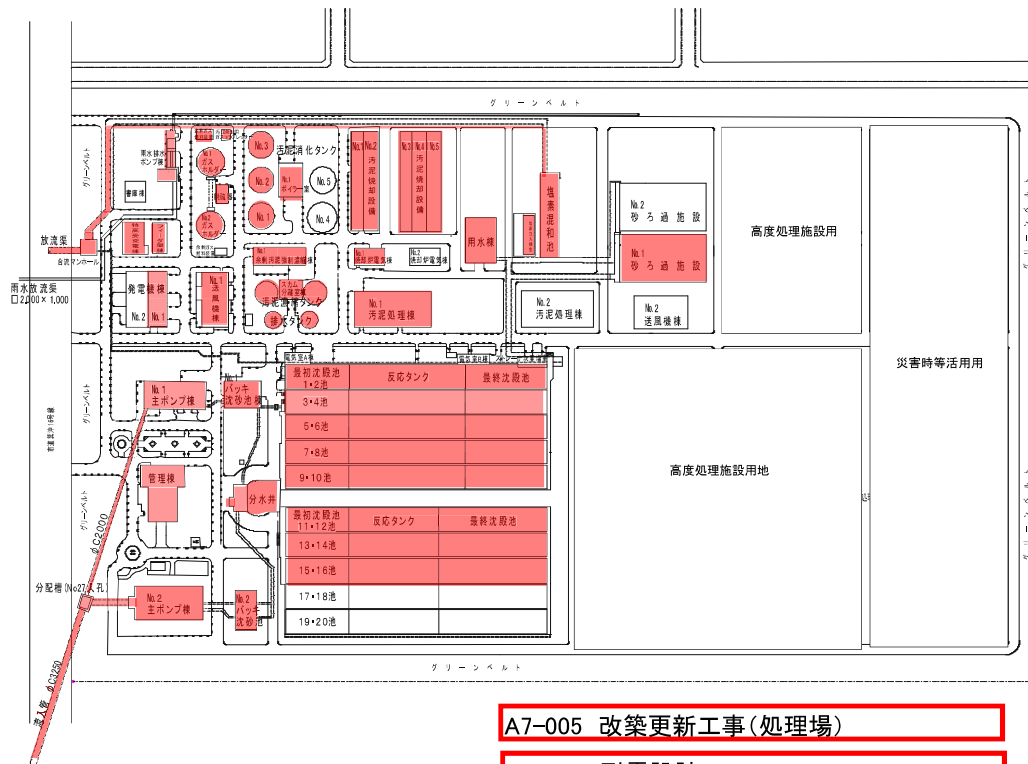


A7-006 管きよ点検

凡例

■ :対象施設

芦田川浄化センター

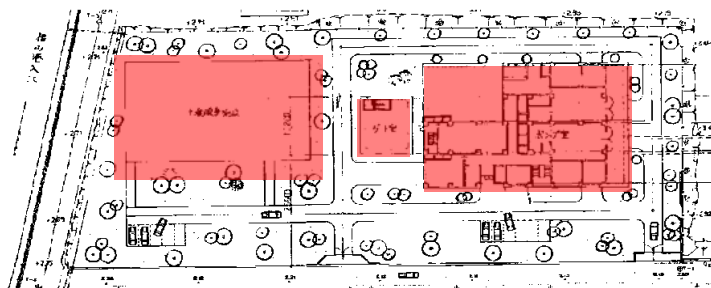


A7-005 改築更新工事(処理場)

A7-007 耐震設計

A7-008 耐震工事

新浜中継ポンプ場



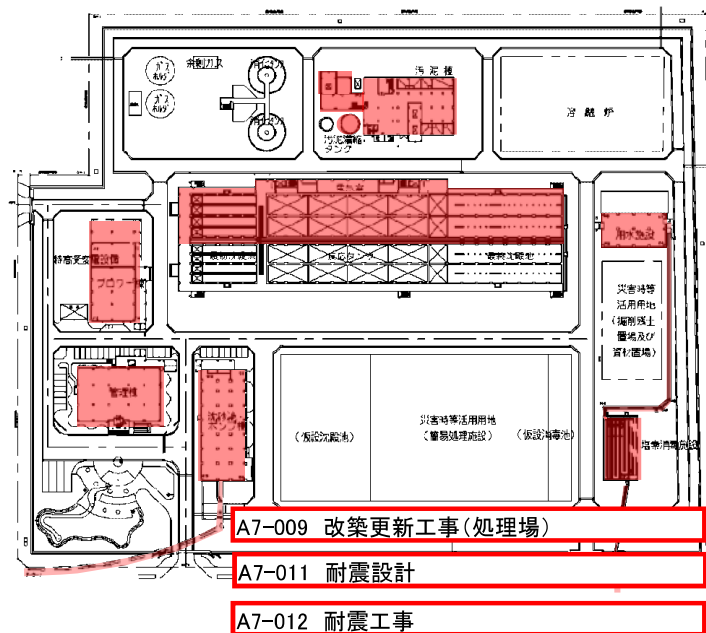
(参考図面)

計画の名称	1 広島県における流域下水道事業の推進 (防災・安全)		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和4年度 (3年間)	交付対象	広島県

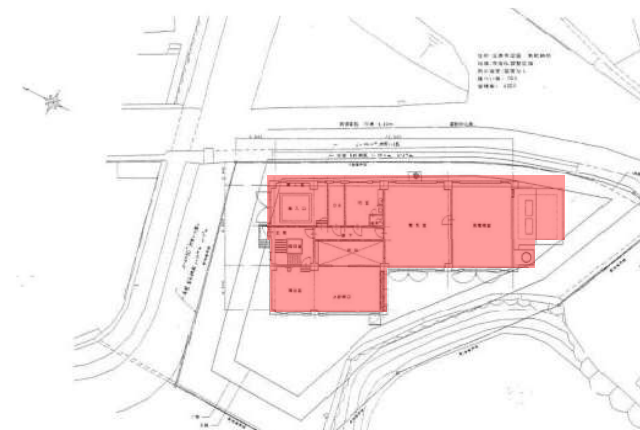
沼田川流域下水道概要図



沼田川浄化センター平面図



沼田東中継ポンプ場平面図



凡例

:対象施設

事前評価チェックシート

計画の名称： 広島県における流域下水道事業の推進（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○